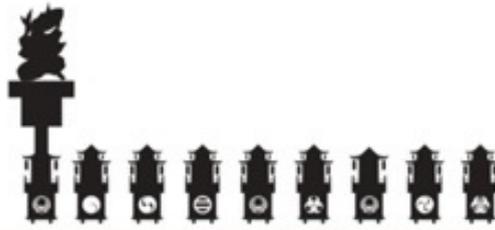
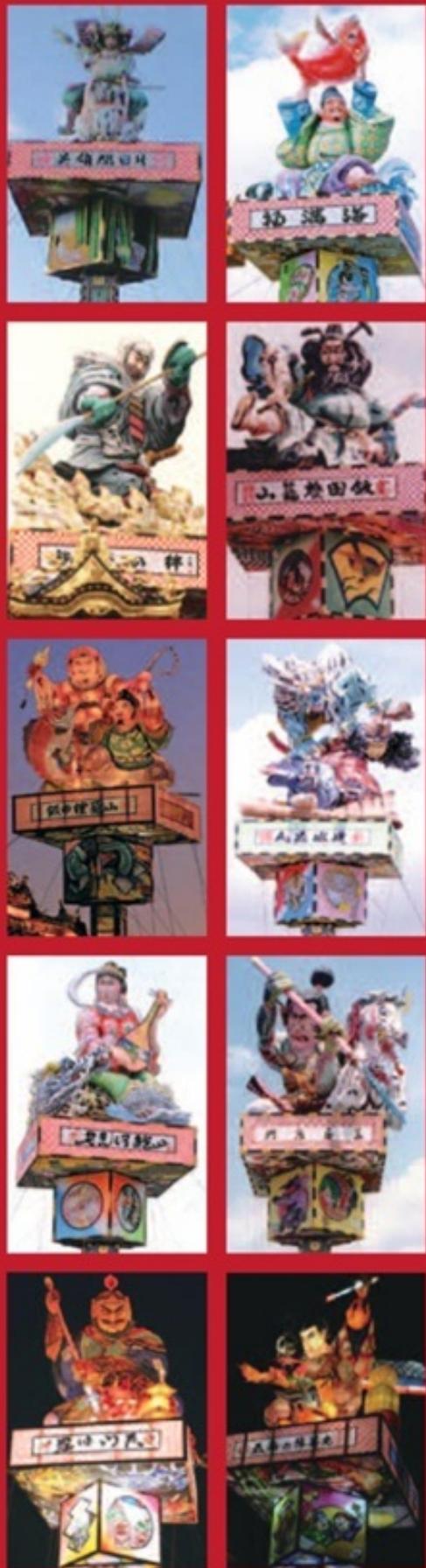


能登半島の最先端
Suzu-city

保存版



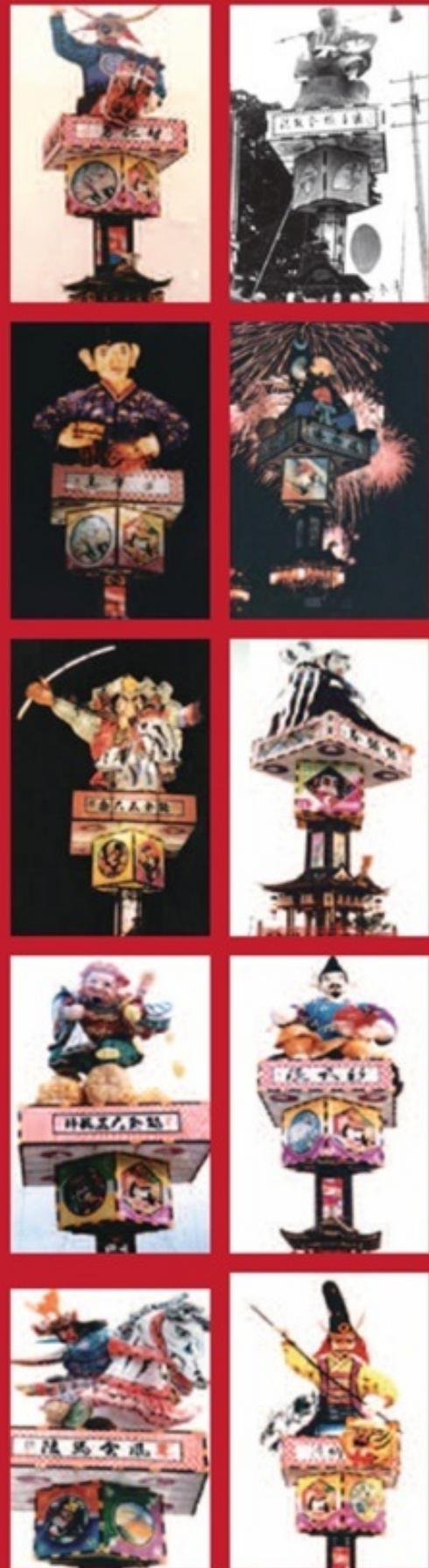
毎年同日
7/20・21



能登半島飯田町 とらやま 燈籠山祭り

珠洲市指定無形民俗文化財

飯田町燈籠山公式ガイドブック
TOROYAMA GUIDE BOOK





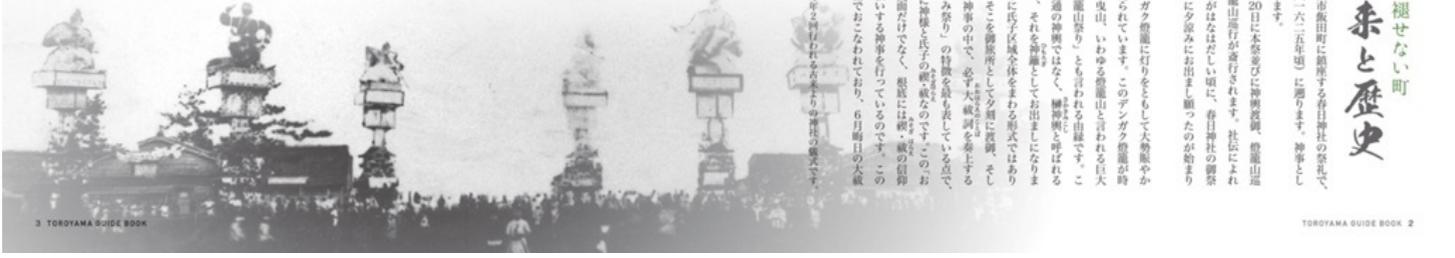
昔の吾妻町山車

吾妻町は漁師町のため、燈籠山入形を飾らなくなった後、大漁旗を掲げていました。
吾妻町から飯田町の中心部までは橋を通らなければならず、若山川下流に位置する吾妻旗を掛け、川を横断している様子です。海に入った歴史があるため、燈山部分の文化が豊しく、近年整理されています。



明治初期以降の飯田町燈籠山祭り

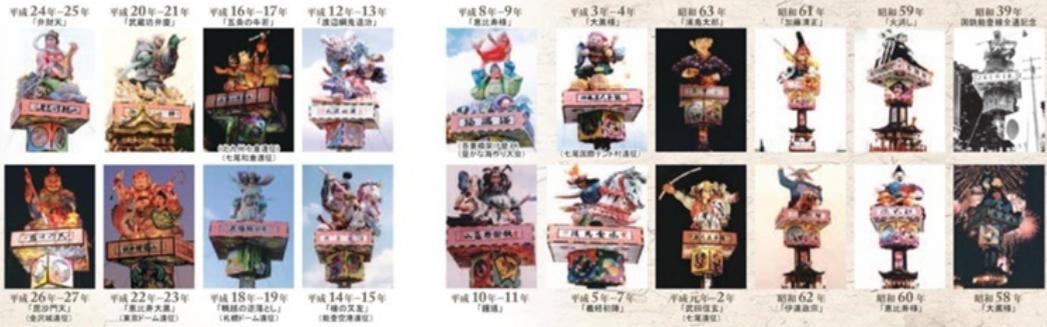
当時飯田町は7町内からなり、7基すべてが燈籠山でした。兵隊など、軍軍色の濃い人形も飾られたりと、その時代の世相を反映した人形題材であったようです。この頃は人形評議審査がなされ、道徳が変遷されるなど見物人の楽しみとなっていました。各町内は競い合い、からくりで自動するものも作られたと伝えられています。大正時代に入ると、町内の電線架設に伴い、燈籠山はその高さを制限されることとなり、屋台と地山を積み重ねることであります。屋台と地山だけとなった燈籠山は、その屋台に開いた穴を通すように、竹で作った柱の花飾りがつけられたり、下ろした人形を燈山の前に飾ったりと、燈籠山を楽しむながらの祭りでありましたが、時代とともに人形も作られなくなります。その代わりに、燈山の前に舞台を建てての踊りが興じられ、子ども踊りがより盛んになっていきました。



歴史と文化が今も色褪せない町
祭りの由来と歴史

燈籠山祭りは能登半島最北端の珠洲市飯田町に鎮座する春日神社の祭りで、その起源は江戸時代の寛永年間初期（一六二五年頃）に遡ります。神事としては「おすすみ祭り」と呼ばれており、
春日神社では、7月19日に前夜祭、20日に本夜祭及び神楽夜祭、燈籠山巡行の神事、21日には氏子全域への燈籠山巡行が実行されます。社伝によれば、寛永年間の初期、土川入りの習さがなほ強い頃に、春日神社の御祭神「天照大神」をはじめ七柱の神々にご参詣にお出まし願ったのが始まりとされています。
往戦、氏子の人々は笠置笠やデングク帽に打りをともし、勢風やかに御祭神への参詣をしたと伝えられています。このデングク帽が時代とともに御祭神に奉納し、現在の曳山、いわゆる燈籠山と言われる巨大な山車となりました。この祭りが「燈籠山祭り」とも言われる由来です。この祭りでの神様の御舞は、「一般的な普通の神舞ではなく、御神舞と呼ばれる白水造りの山車に六尺程度の神を立て、それを神として、お出ましに参詣します。その巡行経路も春秋の大祭のように氏子区域全体をまわる形式ではありません。海岸近くには御祭神を設け、そこを御祭所として少くも御舞、そして御祭所での神事が行われます。この神事の中で、必ず大威列を奉り上げるようになっていきます。これがおすすみ祭りの特徴を最も表している点で、海岸へのお出ましと大威列奉り、まさに神様と氏子の親交の儀式なのです。このおすすみ祭りは、神様の少説みという側面だけでなく、想込には、戦、戦の信仰が根付いた祭りであり、罪・穢をお払いする神事を行っているのです。このような慣わしは能登半島の多くの神社でおこなわれており、6月晦日の大威が行われない理由がここにあります。
※大威は6月晦日と12月大晦日の年々行われるおすすみ祭りの神事の儀式です。

祭礼の歴史



1911 平成 23年 10月
1914 大正 3年
1959 平成 10年
1964 昭和 39年
1974 昭和 49年
1977 昭和 52年
1984 昭和 59年
1987 昭和 62年
1996 平成 17年
2009 平成 21年
2011 平成 23年 10月

1911年 祭礼の歴史
1914年 大正3年
1959年 平成10年
1964年 昭和39年
1974年 昭和49年
1977年 昭和52年
1984年 昭和59年
1987年 昭和62年
1996年 平成17年
2009年 平成21年
2011年 平成23年 10月

近年の燈籠山人形づくりの様子

富田町燈籠山祭り保存会は、燈籠山人形づくり教室を開催するなど、若年層の若い手育成に力を入れております。また子供を対象に、大台帳神の色紙作り作業を体験する機会も提供しています。昔の燈籠山祭りの歴史を知るきっかけづくりの場となり、伝統保存にもつながっています。各町地区山手でも燈籠山に敬意し参行できれば一人一町の製作を試みる町内が増えてきました。地域の声として、燈籠町燈籠山祭りの完全な復活を望む声も高まりつつあります。

大台帳神の色紙作り体験
燈籠山人形の色紙作り体験
色紙作り

竹で作られた燈籠山人形

昔の燈籠山人形は、深く鋭く鋭い細んだ竹に和紙が張り付けられていました。中に入れる灯りにはロウソクが使われていたため、火が人形にうつらないように裏張りをつけていたとされています。竹ひごは一つ一つ火で炙りながら曲げ、紐で結ぶという大変な作業もかけられていました。一件一件の軒先には紐を縫った竹筒が飾られていたとされています。

昔の燈籠山人形を模写

祭礼の歴史
1911年 祭礼の歴史
1914年 大正3年
1959年 平成10年
1964年 昭和39年
1974年 昭和49年
1977年 昭和52年
1984年 昭和59年
1987年 昭和62年
1996年 平成17年
2009年 平成21年
2011年 平成23年 10月

1911年 祭礼の歴史
1914年 大正3年
1959年 平成10年
1964年 昭和39年
1974年 昭和49年
1977年 昭和52年
1984年 昭和59年
1987年 昭和62年
1996年 平成17年
2009年 平成21年
2011年 平成23年 10月

TOROYAMA
全長: 約16m
重さ: 約5.5t

九基の山車

町の財産・地域の宝

飯田町は八町内からなり、各町内に一基、山車を所有し、それぞれ特徴ある山車となっています。また八町内にはそれぞれ町紋があります。昔は各町内の山車の上に燈籠山人が飾られていたという歴史があります。燈籠祭りに伴ってその愛着が深まりました。しかし現在では、電線地中化に伴い、燈籠山人を飾り山車の上に乗ったり展示している町内もありません。地域の文化を後継ぎで受け継ぎたいという思いが、町内でも山車は町内のシンボルであり、先で、毎年様々な取り組みがなされ我が町が一基、とはなりに、祭り本場まで飯田町全体が祭り一色と染まっています。

西大町
町紋 三つ組大文字

鍛冶町
町紋 藤の花

栄町
町紋 昇り藤

南町
町紋 三つ巴

南濱町
町紋 三組錨

港町
町紋 丸二

今町
町紋 右二つ巴

吾妻町
町紋 右一つ巴

Festival

- 1 飯田町燈籠山祭り
【飯田町】7月20日-21日
高さ約16m！日本最大級の
曳山は見応え充分
- 2 網島町の秋祭り
【網島町】9月10日-11日
能登塗り豪華純樸な彫刻のキリコ！
11日早船狂言
- 3 寺家町の秋祭り
【三崎町寺家】9月第2土曜
日本最大のキリコ！
祭りは朝方まで続きます。
- 4 正院町の秋祭り
【正院町】9月14日-15日
15日に因り字を習った若者が
シケンがよばれも種を張り、
神輿や太鼓山車ともに行進する
「紋張り道中」が行われる。
- 5 野々江町の秋祭り
【野々江町】9月24日-25日
24日の前夜祭では道の駅すずなりにて
子供たちによるキリコ祭りの
笛と太鼓の演奏が行われます。

能登半島の最先端
Suzu-city 石川県珠洲市

おまつりマップ

平成27年4月日本遺産に認定
「能登のキリコ祭り」

「キリコ」とは？

祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭りが、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をしています。灯籠神事が集積をした地域「奥能登」は唯一無二。秋に能登を旅すればキリコに出会える可能性は高いといえます。キリコは目が見えない神様のために灯している灯りの役割をしているとも伝えられ、夜間から朝方に担ぎ出されている地域が多いことも特徴です。

「よばれ」とは？

祭礼にて、各家で友人や親戚・知人を招き、ごちそうを振る舞う習慣です。奥能登のよばれの特徴として、御膳でもてなします。

Event

- 6 大谷川麓のほりフェスティバル
【大谷川河口】5月3日-4日
約500本の穂のほりが
大谷川を壮大に泳ぎます♪
- 7 若山町庭祭り
【若山町】6月第2土曜-日曜
郷土民謡を楽しむまつり
(1日土曜日-前夜祭)
- 8 宝立七ツキリコまつり
【鶴舞川河口】8月7日
キリコの海中乱舞が見え！
(毎年好評の枝数あり)
- 9 砂取節まつり
【黒橋町】8月13日
太鼓の演奏や郷土芸能が
あしめ、砂取節を踊ります
- 10 珠洲デカ曳山まつり
【網島海岸】10月第2日曜日
デカ曳山の高さは約18m！
どなたでも曳くことができます

11 TOROYAMA GUIDE BOOK

TOROYAMA GUIDE BOOK 10

交通情報

ACCESS INFORMATION

新幹線 SHINKANSEN

東京駅 約2時間30分 金沢駅

特急・鉄道 SHINKANSEN

大阪駅 特急「サンダーバード」 約2時間40分 金沢駅

名古屋駅 特急「しらさぎ」 約3時間 金沢駅

金沢駅 JR + のと鉄道 約2時間 穴水駅

車 MY CAR

東京 関越・北陸自動車道経由 約6時間30分 金沢

大阪 名神・北陸自動車道経由 約3時間30分 金沢

名古屋 名神・北陸自動車道経由 約3時間 金沢

飛行機 AIRPLANE

羽田空港 約1時間 のと里山空港

羽田空港 約1時間 小松空港 約40分 金沢駅

金沢駅からは
特急バスで
約2時間

路線バスで
約1時間
30分

のと里山海道・
珠洲道路経由
約2時間

ふるさと
タクシー
約45分

金沢駅からは
特急バスで
約2時間

飯田町燈籠山祭り保存会

〒927-1214 石川県珠洲市飯田町16-21-1

TEL・FAX: 0768-82-7890

E-mail: wakuwakuhiroba01@gmail.com

飯田燈籠山祭り公式サイト: <http://toroyama.nt08.com/>

